



中葦橋から望む城北川



城東区複合施設



城東区マスコットキャラクター
「コスモちゃん」

城東区将来ビジョン3.0（案） （2023（令和5）年度～2027（令和9）年度）

2022（令和4）年12月

大阪市城東区役所

資料1



目次

I. 城東区将来ビジョンについて	2
II. 区の現状と課題	4
III. 将来像と基本理念	15
IV. 施策展開の方向性	16
～ SDGsを意識した区政運営 ～	17
IV-1. 人と人がつながり、城東区を誇りに思えるコミュニティ豊かなまちへ	18
IV-2. 地域で支えあう安全で安心なまちへ	20
IV-3. 安心して子育てができ、心豊かに力強く未来を切り拓く子どもを育むまちへ	22
IV-4. 地域が支えあい、住み慣れた場所で安心して暮らせるまちへ	26
V. 将来ビジョンの推進に向けて	30

I 城東区将来ビジョンについて

区将来ビジョンとは

区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、将来像の実現に向けた施策展開の方向性などをとりまとめ、区民の皆さんに明らかにするものです。

城東区将来ビジョンの計画期間

当初、概ね5年後（平成29年度）の城東区の姿を見据えて、平成25年4月に「城東区将来ビジョン ☆輝く城東区☆」を策定、その後、期間の終了に伴い、改めて概ね5年を計画期間とする、現行の「大阪市城東区将来ビジョン（平成30年（2018）～令和4（2022）年度）」を策定、区政の推進に取り組んでまいりました。

このたび、これまでのビジョンを基礎としつつ、3回目の更新、バージョンアップを行うという考え方のもと、改めて「城東区将来ビジョン3.0」として策定、これまでと同様、計画期間を概ね5年、2023（令和5）年度から2027（令和9）年度とし、施策展開の方向性などをお示しします。

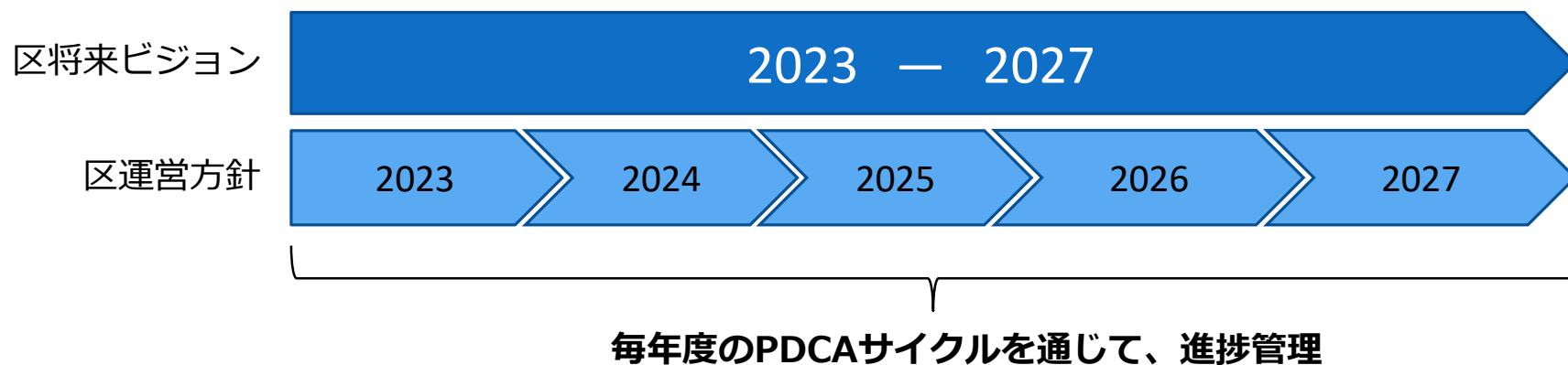


I 城東区将来ビジョンについて

区運営方針との関係について

区運営方針は、区将来ビジョンで示された施策展開の方向性に沿って年度ごとの施策・事業の取組みを明らかにする単年度のアクションプランとなります。

区長は毎年度の区運営方針のPDCAサイクル（※）を通じて、区将来ビジョンの進捗を管理します。



※PDCAサイクル…PDCAは、Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）の頭文字で、4つのプロセスからなる活動のサイクルを繰り返し、改善を継続していくための手法が、PDCAサイクルと呼ばれています。